



掃水まちづくり協議会 たより

平成21年12月15日
掃水まちづくり協議会
42号

から四年生までの男女
三十名の児童が登所
しています。

毎日同じ遊びでは
飽きてしまうので、
指導員の先生が工夫
して、オニごっこや

サッカー、バレー、ドッチボー
ル、将棋、手芸、工作など、い
ろんな事を行っています。

十月には、市内十四の学童ク
ラブが集まり、ドッチボール大
会が行われました。ていすい子
どもハウスからも二チームが参
加し、他学童との交流もあり楽
しい一日を過ごしてきました。

カもしながらですが、元気がいっ
ぱいに過ごしている学童の子供
達。地域の方にも、暖かい目で
見守っていただけたら、とても
心強いと思います。

くし田川のそとづい

掃水小学校三年
榎田町 仲谷 海玖

11月の15日にくし田川のごみ
ひろいに行きました。

夏わたしがくし田川へ遊びに
行った時、ごみがすごおちて
ました。それを見て、わたしは、
もうちよつときれいにしたいな
と思いきし田川のそうじにさん
かしました。集合場所に行つた
らたくさんの人がいました。わ
たしの友だちも三人いました。
これだけの人がくし田川をすこ
しでもきれいにしたいと思つて
いるんだなと思いました。

ごみをひろいに行くと、あき
かん、ペットボトル、たばこ、
ほかにいろいろなごみがすてて
ありました。わたしはどうして
こんなにごみをすてていくんだ
ろう?と思いました。そしてそ
の中でもたばこがとでも多かつ
たです。ほかに、空気入れ、
れいぞうこなど大きな物もすて

てありました。いろいろなごみ
がすててあるので、わたしは、
ほかの人たちは、ちゃんどくし
田川のことを思っているのか
な?と思い、とてもさんねん
でかなしいきもちになりました。
ごみひろいが終わってしゅうご
う場所にもどると、ノートとお
茶とぶたじるをもらいました。
ぶたじるは、寒いのもわすれる
ぐらいあたたかくておいしかつ
たので、わたしはとてもうれ
しかったです。



櫛田川クリーン作戦の様子

帰り道、わたしはくし田川をみ
ながら、たくさんごみがおちて
いたのを思い出し、どうして、
みんなごみをすてていくのかふ
しぎに思いました。みんな一人
一人が気をつけられれば、ぜったい
川はきれいになると思います。

わたしはこれからもくし田川を
きれいにするどりよくをわすれ
ないようにしたいなと思いまし
た。

除夜の鐘が撞けます

(始まりの時間)

安楽寺は、十一時三〇分

西方寺は、十一時四五分

平成二十一年も終わろうとし
ています。

櫛田地区で、除夜の鐘を撞く
お寺は、清水町の西方寺さんと
安楽町の安楽寺さんです。

どなたでも撞いていただける
そうですので参加ください。
百八の鐘の音は、百八の煩惱
を除き、一年間の罪障の垢を減
し、身も心も清らかにするとい
われております。
どうぞ皆様、お誘い合わせの
上、参拝下さい。

合掌

1月の行事予定

第2回評議員会

1月15日(金) 19時~

※当初予定が変更になりました

「掃水自主防犯パトロール 隊」隊員の講習会の実施

2月19日(金)

19時 センター

の「第二の家」
です。今年度
は、一年生か

掃水小学校のプール横にある、
放課後児童クラブ「ていすい子
どもハウス」をご存知ですか?
家に帰っても誰もいない、と
いう子供たちが、おうちの方が
迎えに来るまで、おやつを食べ、
宿題をし、たくさん遊んで過ご
しています。子供たちにとって



ていすい子どもハウス

毎月月末にはお誕生会をし、
春休み夏休み秋には遠足にも行
きます。子供たちの希望も様々、
電車に乗って東山動物園に行つ
たこともありました。

限られた空間で、時にはケン



安楽寺の鐘楼

シリーズ自治会だより(五)
慎みの心

榎田神社宮司
佐伯 正克

日本の古伝承によれば、この日本列島も人も山川草木も水も日もイザナギ・イザナミという二人の神様によって生み出されました。つまり、日本の国も大自然も人も皆兄弟姉妹というわけです。ですから日本人は昔から国にも自然にも人にも神聖感を持ち、敬意を払ってきました。例えば少しの水を使う時も、そこには水の神様がいらつしやるから無駄にしない様にと、木を切る時にも、そこには木の神様がいらつしやるから乱伐してはいけないと考えました。どのような時でも自ずから「慎みの心」が常住の工夫となっていました。近時は欧米思想の影響で、個人主義的思想が強くなりすぎ、特に若い人たちの公の中の立ち居振る舞いに、眉を顰めたくなるのは私だけではないと思います。国も大自然も我々人間の同胞とお考えになり、日本人本来の美徳である「慎みの心」のご醸成を期待するものです。

草刈のお礼

12月6日(日)13時より15時30分まで、十数名の方に参加していただき、「掃水草刈り十字軍」として運動公園の草刈りを行いました。多くみなさんのご協力ありがとうございました！美しくなった場所は、ふれあいウォーキングでも見ていただきました。来年度もぜひ「掃水草刈り十字軍」へのご協力お願いいたします。

飯野中学校 記念碑除幕式

飯野中学校同窓会会長
田所 清男

このたび、元飯野中学校の跡地へ記念碑を建立しようと「ある一人の追想の言葉」から一部の関係者とその追憶をあらたに機運の高まりを見たのであります。

思い返せば小さくて狭い木造校舎ではありましたが、私たちにとってはこころあたたかく、親しみ深い学舎でありました。そして懐古の情けを深くして、当時の校門の附近に立ち周辺を眺めても、かつての思い出深い飯野中学校の面影を感じ取るものはなく、当時を偲ばせるものがあるればと誰しもが祈念するところであり、そこで私たちは、この跡地にささやかな母校飯野中学校記念碑を建立しようと考え

ましたところでありました。

このことは今日にいたるまで幾度か協議、検討が重ねられた。このたび竣工の運びとなりました。

この間、歴代校長千賀竹生先生を初め関係者の方がた、そして立派な成果を収められました。石徳石材さま、さらにご賛同ご協力いただきました会員のみなさまに対しまして、深甚の敬意と感謝を申し上げます。ごあいさついたします。

ありがとうございます。
平成二十一年十一月二十四日



飯野中学校記念碑

四国八十八ヶ所霊場 歩き遍路物語(二)

豊原町 岩塚 章

四拍子揃った。「幸な男じやわい」歩き訓練、秋九月から始め年が越えた頃には山添の榎田川ダムまで三キロ、神山に登る、往復六キロ。そして一乗寺まで麓から登り二十分、帰り十五分。体力的に八キロくらいの歩きだろう。

いや、いや、こんな訓練ではとうてい四国は歩けない。一日二十五キロから三十五キロは歩かねば八十八ヶ所通し歩き一三〇〇キロ、日数にして五十日と案内本に書いてある。こんな歩き訓練ではとうてい歩き通すことは出来ない。人間生きて行ける最小限の荷物を背負って歩かねばならない。リュックに二リットルのペットボトルに水を入れて四本持つて歩き訓練を始めた。二月頃になると豊原―山添―中万―射和―阿波曾―庄町として榎田川を渡り多気町天啓池―相可、又川を越えて射和、神山に登り豊原―丁度二十三キロ、「もう止めようか、こんなことまでして」何度思ったことか。

三月に入るとその二十三キロが苦にならないようになった。榎田から内宮まで毎日歩いてい

る、そんな距離である。
「こんなことしてまで何故、何故、何故」と毎日思うようになってはいたけれど、「男、一度決めたこと」絶えて、絶えての毎日であった。

だが、だが出発予定日三月二十日前になると「これまでやり通したんだ。必ず歩き通せる」そんな体に変わっていた。
「お前よくやり通したな、俺の分まで歩いて来てくれよ」
「ありがとう」
出発前には八キロのリュックの荷造りが出来、主の出発を待っていてくれた。

四国八十八ヶ所霊場、歩き遍路計画して早一年の年月が過ぎていた。

次回へ

「たこあげ大会中止」

年度初めに計画していましたが、たこあげ大会は、運動公園の造成作業の都合で取りやめとします。

今年も有志の方に大たこを作ってもらっています。

一月一〇日(日)に明和町のたこあげに、一月二三日(土)には、西黒部で行われる、たこあげ大会に参加したいと思えます。

皆さん応援にきてください。